

## 北陸新幹線の早期福井開業を求める意見書

北陸新幹線は、我が国の高速交通体系の柱として日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に寄与し、さらに東海道新幹線の代替補完機能を担うとともに、地域経済の活性化に大きな効果をもたらす国家的プロジェクトである。

現在、北陸新幹線については、長野から白山総合車両基地間が平成 26 年度末の完成を目指して着実に整備が進められている。

しかし、福井県内においては平成 21 年 2 月に福井駅部が完成したものの、既に認可申請がされている白山総合車両基地から敦賀間について、いまだ認可のめどが立っていない。

これまで本市では、福井駅周辺の整備や新幹線用地確保など、新幹線の福井開業を見据えた環境整備に努めてきたところであるが、認可の動向が明らかにされていないため、事業の進捗が滞り、まちづくりへの悪影響が懸念されている。

国は未着工区間について、夏までに結論を出すとしているが、国の責任において、早期に新規着工区間を決定することを望むものである。

福井市民の長年にわたる切実な悲願である北陸新幹線の福井開業が早期に実現するよう、下記の事項について強く要望する。

### 記

1 駅周辺整備など、本市のまちづくりに係る都市計画事業が、これ以上停滞することがないように、北陸新幹線の白山総合車両基地から敦賀間の早期の認可・着工を実現すること。

2 財源については、貸付料、鉄道・運輸機構の利益剰余金などの活用により、整備財源を確保し、まず、新規着工に充当すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 22 年 6 月 22 日

福井市議会